

# 2021年2月期 第2四半期決算説明資料

2020年10月15日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス（証券コード：2884）

1. 当社が目指す姿
2. 2021年2月期 2Q決算ハイライト
3. 2021年2月期 2Q決算概要
4. 2Qトピックス
5. Appendix

# 1. 当社が目指す姿

いつまでも、  
この“おいしい”を楽しめる社会へ  
～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

## < 目指す社会像 >

### いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ

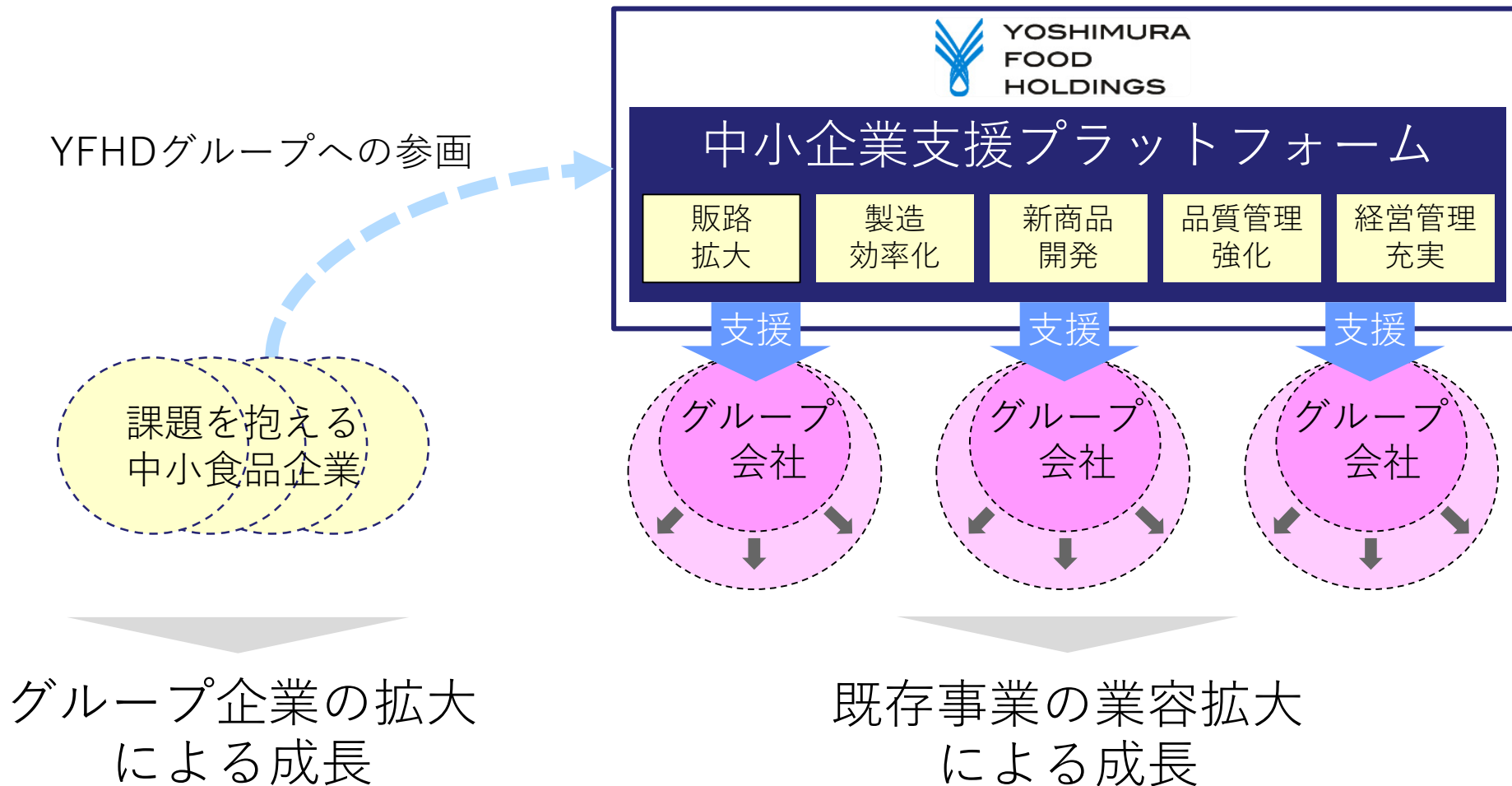
～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

地域の中小企業のポテンシャルを引き出し、地域コミュニティの維持・発展に貢献し、多種多様で安心・安全・サステナブルな食品にあふれた豊かなグローバル社会を実現させる

## < 自社の果たす役割 >

- 後継者不在の中小食品関連企業を譲り受け、事業を存続することで、従業員の雇用を守り、商品を守り、取引を守り、地域社会の維持・発展に貢献する
- 中小企業支援プラットフォームにより中小食品企業が持つポテンシャルを引き出し、融合することで再生・活性化に導く
- 日本の安心・安全で高品質な食品を安定的に製造し、世界展開をサポートすることで、世界の食文化の多様化と地域社会の活性化を推進するグローバルプロデューサーとなる

食品業界におけるユニークなビジネスモデルにより、当社は**2つの成長エンジン**を有する



# 中小企業支援プラットフォーム

グループ会社を「機能別に統括」することで「相互補完・相互成長」を図る仕組み



グループ会社の有機的な相互補完関係

会社の壁を越えて機能ごとに横断的組織を構築

グループで最もノウハウをもった人材が統括責任者となり、グループを横断的に統括

各社の持つ強みをグループ全体で共有し弱みを補い合う

中小企業支援プラットフォーム

後継者不在企業を譲り受け、グループ化して活性化する当社の事業は正にESG経営そのものであり、ESG経営をより強化することで持続的な成長を実現いたします。



## いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ

～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

**G** (ガバナンス) : ホールディングスによるグループ会社の成長支援

- 中小企業支援プラットフォームによる経営支援
- 経営管理機能の提供

**E** (環境) : グループ会社の取組み

- 環境に配慮した持続可能な食品製造



< 森養魚場の例 >

- 河川の水質汚染等に伴う天然鮎の減少に対して、養殖技術による安定供給で貢献

**S** (社会) : グループ全体の取組み

- 後継者不在企業の事業継続

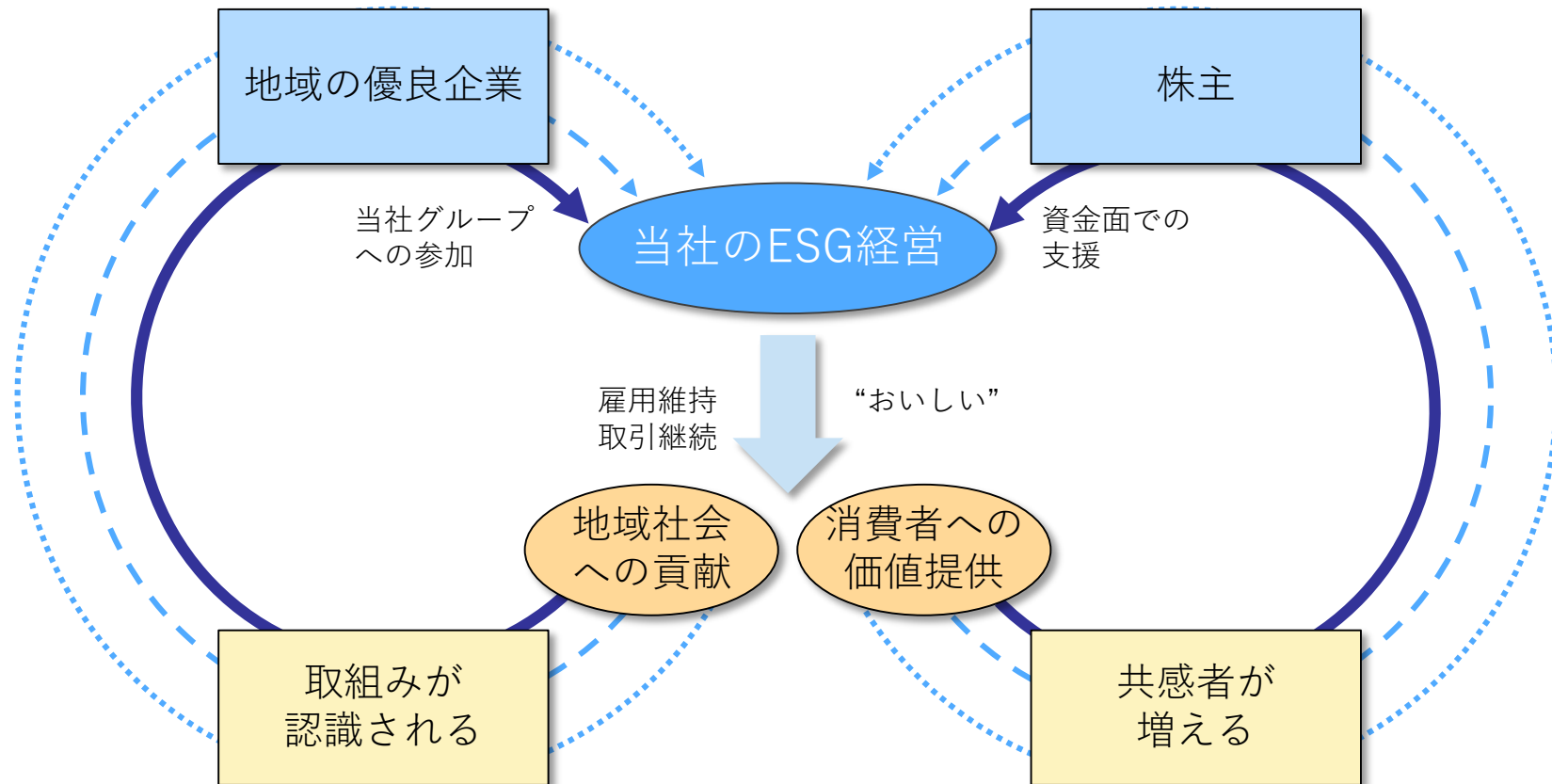


< まるかわ食品の例 >

- 秘伝のレシピにより地域で高い支持
- 後継者不足で廃業を告知するもファンの強い後押しで当社が事業を継続



ESG経営を推進することで、地域社会への貢献や消費者への価値提供を進め、当社グループに共鳴して参画を希望する優良企業と、当社グループに共感して株主として支援する企業や消費者を増やし、当社グループが持続的に成長することができる



## ESG

## 取り組み内容

E

環境  
(Environment)

### ■ 環境に配慮した持続可能な製品製造

- 環境変化に依存しない、もしくは、環境に負荷をかけない持続可能な製品製造技術・ノウハウを保有
- 限られた食料資源の有効活用や効率的な生産を実施
  - 森養魚場：気候変動、河川の水質汚染等の影響により天然鮎が減少する中、独自技術にて養殖鮎を安定供給
  - ヤマニ野口水産：サイズ不揃い品を用いた製品の開発により食材ロス削減への貢献
  - 雄北水産：原材料の有効活用により、ネギトロや中落ちを効率的に生産・販売

### ■ 製造工程にて発生した産業廃棄物の再利用

- グループ各社：製造工程にて発生した廃棄物を地域の畜産業者などに提供することによる食品廃棄物の有効活用

### ■ 消費電力削減

- グループ各社：工場の使用電力削減を目的とした、LED化、高効率ボイラーの採用などを順次実施

S

社会  
(Social)

### ■ 地域に強力なファンを抱える企業等を引き受けることにより、事業の存続に貢献

### ■ 地域社会における食の多様性への貢献

- 地域の消費者から高いニーズがあり、こだわりを持った原材料・レシピによる製品開発を実施
  - 香り芽本舗：地元中国地方のふりかけ市場にてトップクラスのシェア
  - まるか食品：鮮度抜群の豚肉や（主に）地場産キャベツを中心としたこだわりぬいた原料と秘伝のレシピ
  - おむすびころりん本舗：信州安曇野の立地条件とフリーズドライ技術を生かした地域の特産品開発
  - 榮川酒造：地域が誇る日本名水百選に選定された「龍ヶ沢湧水」を使用した清酒造り
  - ダイショウ：保存料、着色料、酸化防止剤不使用。なめらかな食感と飽きのこない味
  - オープン：広島清浄海域、条件付清浄海域に限定したカキの仕入れ

### ■ 従業員の多様性

- グループ各社：女性の活躍の場を整備、障害者、外国人の登用など各種取り組みを実施

G

ガバナンス  
(Governance)

### ■ 経営リソースのサポート

- グループ会社の資金調達や次世代経営者の育成により、グループ会社経営を支援

### ■ 中小企業支援プラットフォームによる支援

- グループ会社の自律性を担保しつつ、状況に合わせた事業計画立案や進捗管理への関与
- 機能別の統括部署を設置し、グループとして事業支援や各種進捗管理などを実施

## E（環境）：森養魚場

- 稚魚の人工孵化、成育、出荷までの完全養殖技術
- 事業承継者不在による存続を支援



## E（環境）：純和食品

- 産廃のたい肥化、廃プラの固形燃料化等の環境保護
- 事業承継者不在による存続を支援

純和食品オリジナルブランド『IRODORI Sweets』第一弾



## G ヨシムラ・フード・ホールディングスによるガバナンス 中小企業支援プラットフォームによる経営支援

## S（社会）：香り芽本舗

- 地元中国地方のふりかけ市場にてトップクラス
- 事業承継者不在による存続を支援



## S（社会）：まるかわ食品

- 鮮度抜群の豚肉などを原材料とした大人気の餃子
- 継承者不在、地元民からの強い要望による事業承継



## 2. 2021年2月期 2Q決算ハイライト

業績	売上高	148億円	前年同期比	100%
	営業利益	2.4億円	前年同期比	51%
	EBITDA	7.3億円	前年同期比	86%

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

## 概要

### <国内事業>

スーパー量販店向け市販用商品の売上は堅調に推移するも、産業給食、飲食店や観光向けの業務用商品の売上は引き続き軟調に推移した。

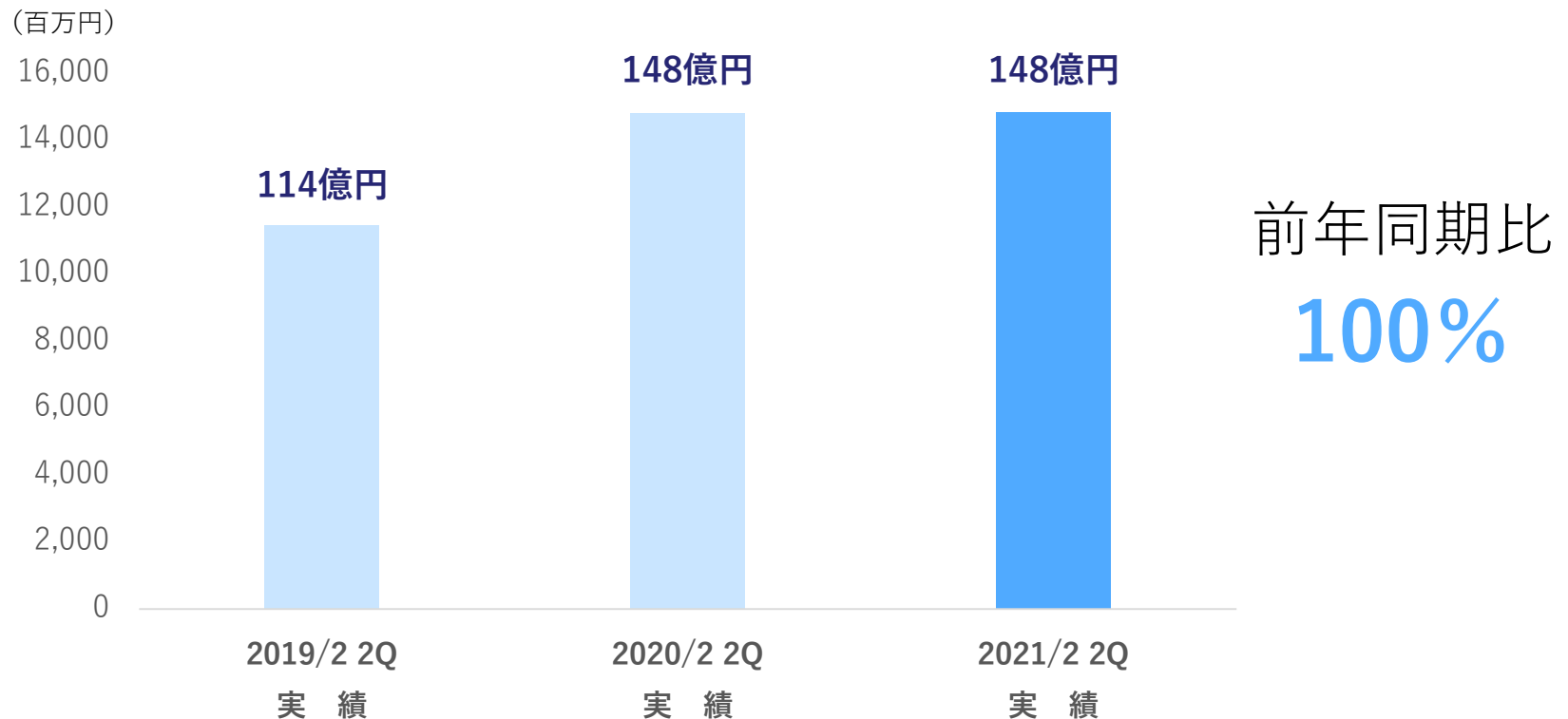
### <海外事業>

2Q（海外子会社の2Qは4月～6月）において、シンガポールで部分的ロックダウン（2020年4月上旬～6月上旬）が実施されたことで、一部の海外子会社が事業活動を停止もしくは縮小を余儀なくされ、2Qにおいて売上及び利益が**一時的に**減少した。

(注) 2Qにおいて、NKRはメンテナンス以外の事業を停止、Sin Hin及びPacific Sorbyは、販売先であるホテルや飲食店の多くが休業もしくは事業を縮小したことから売上が大幅に減少。JSTTはスーパー向け寿司事業が好調に推移。**なお、ロックダウン後は売上が徐々に回復傾向。**

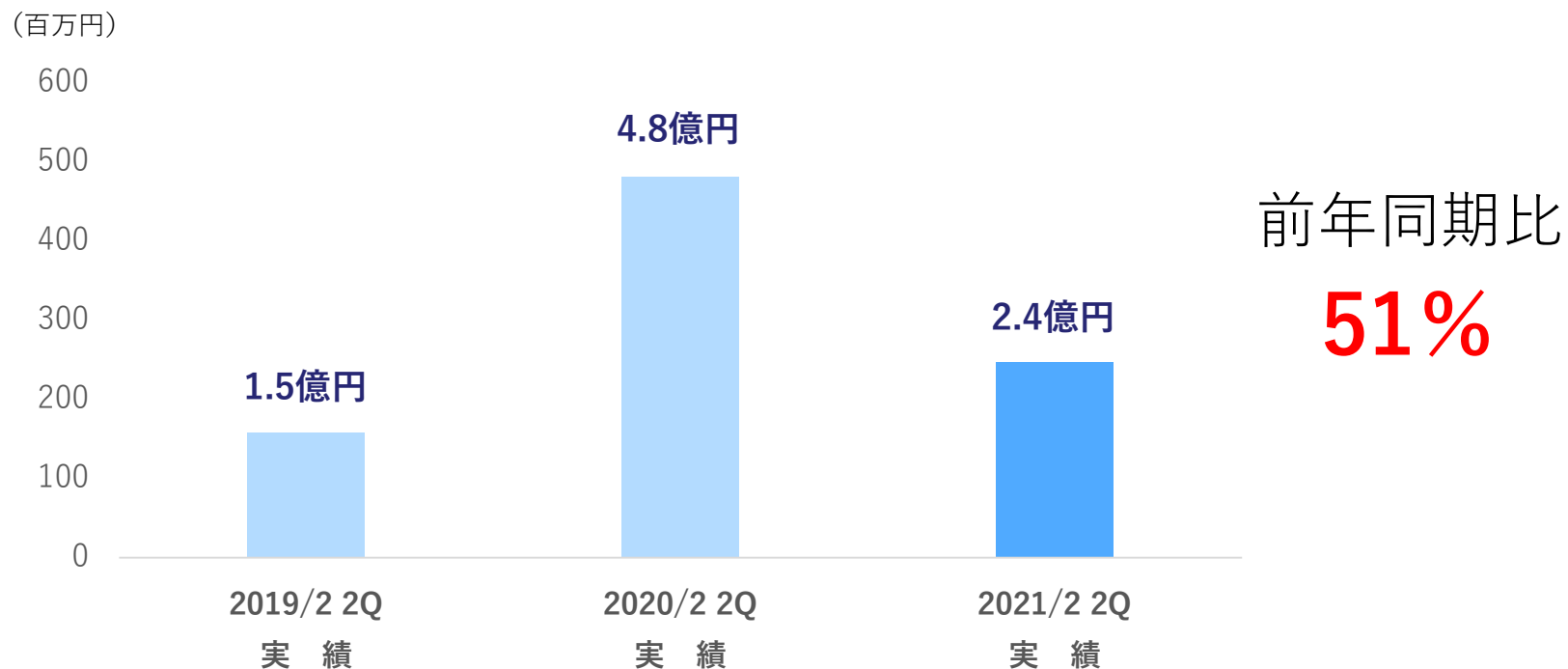
## 売上高

新型コロナウイルスの影響により、国内事業は引き続き堅調に推移するも、シンガポールにおける（部分的）ロックダウンにより海外子会社が大幅に減収となり、前年同期比**100%**。



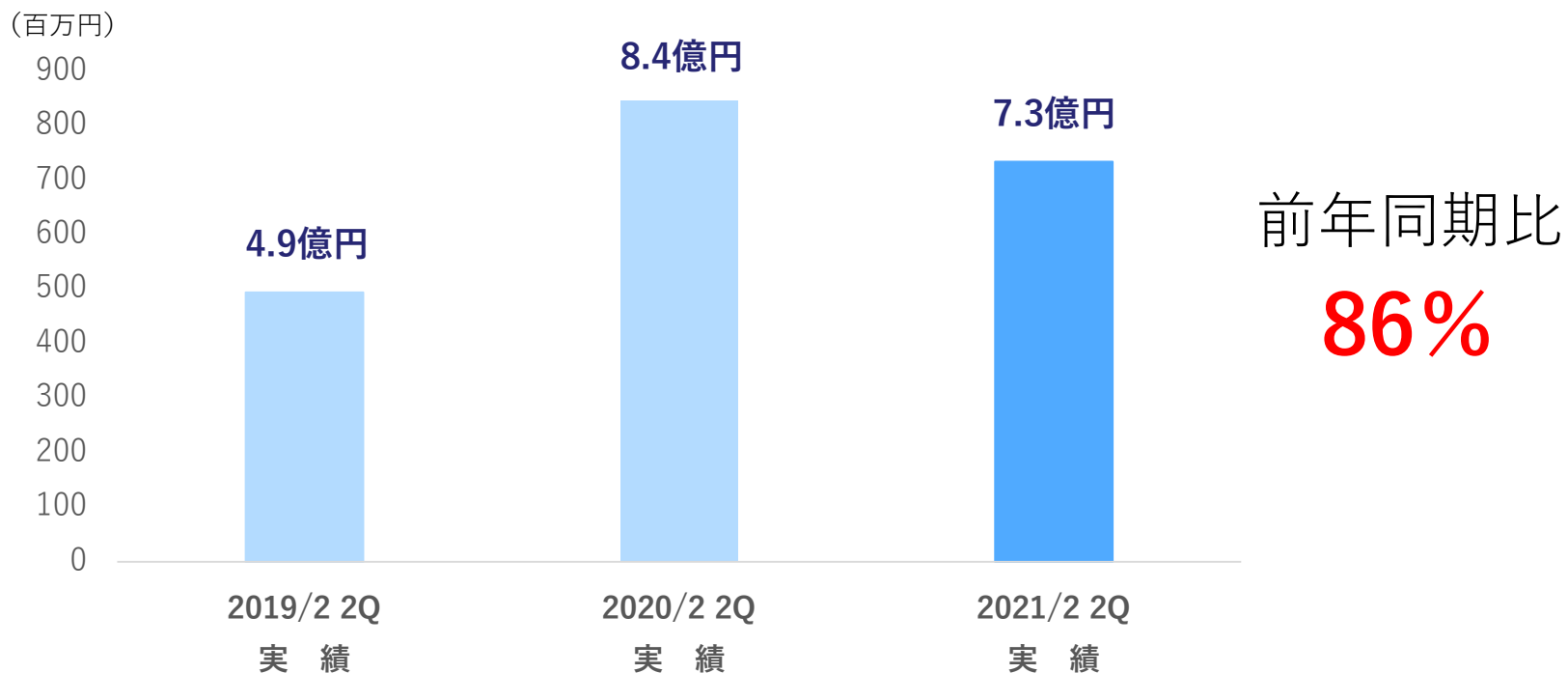
## 営業利益

国内事業は引き続き増益となるも、利益率が高い海外事業の売上が大幅に減少したことで大幅な減益となり、前年同期比**51%**となる。



## EBITDA

EBITDAは734百万円、前年同期比**86%**となる。

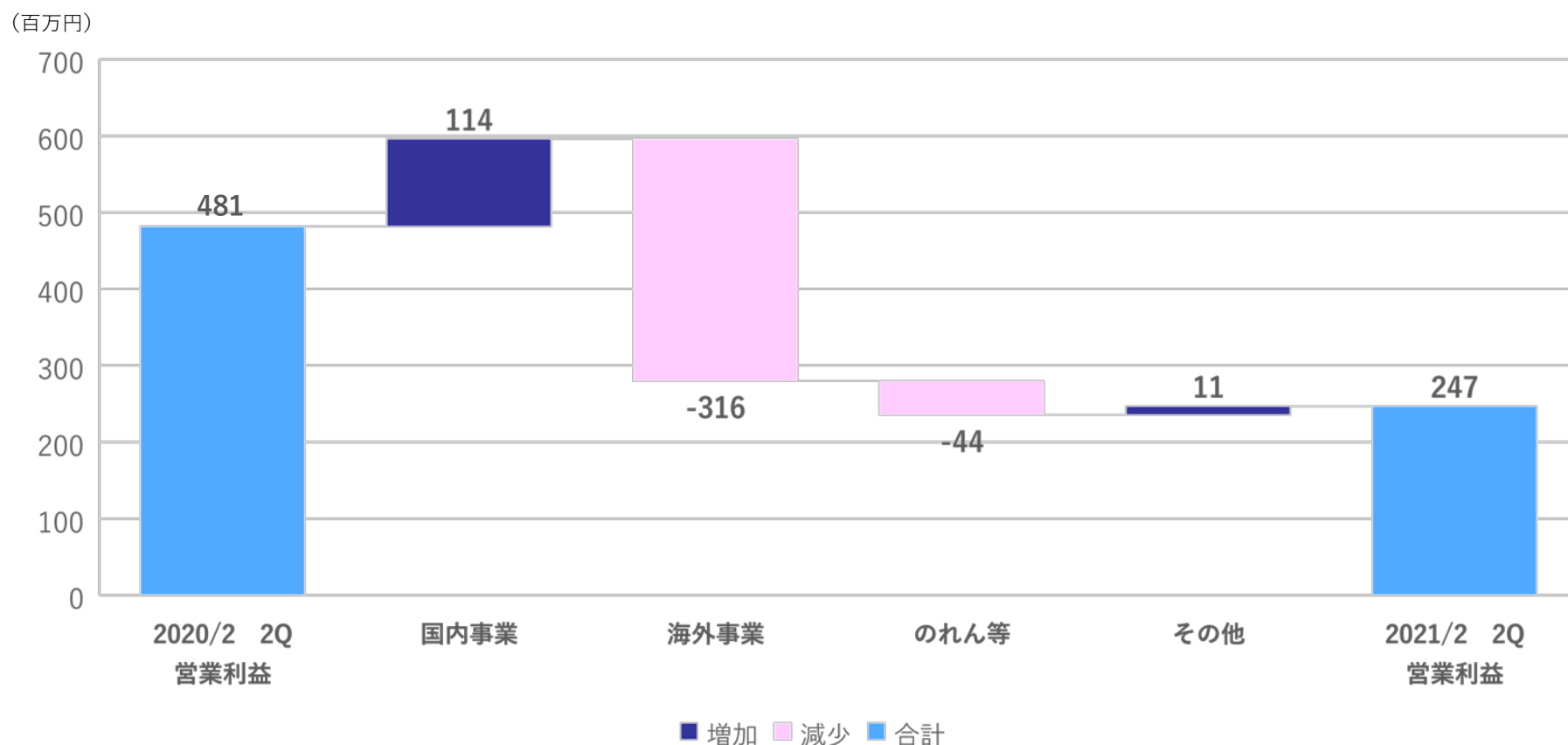


(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出



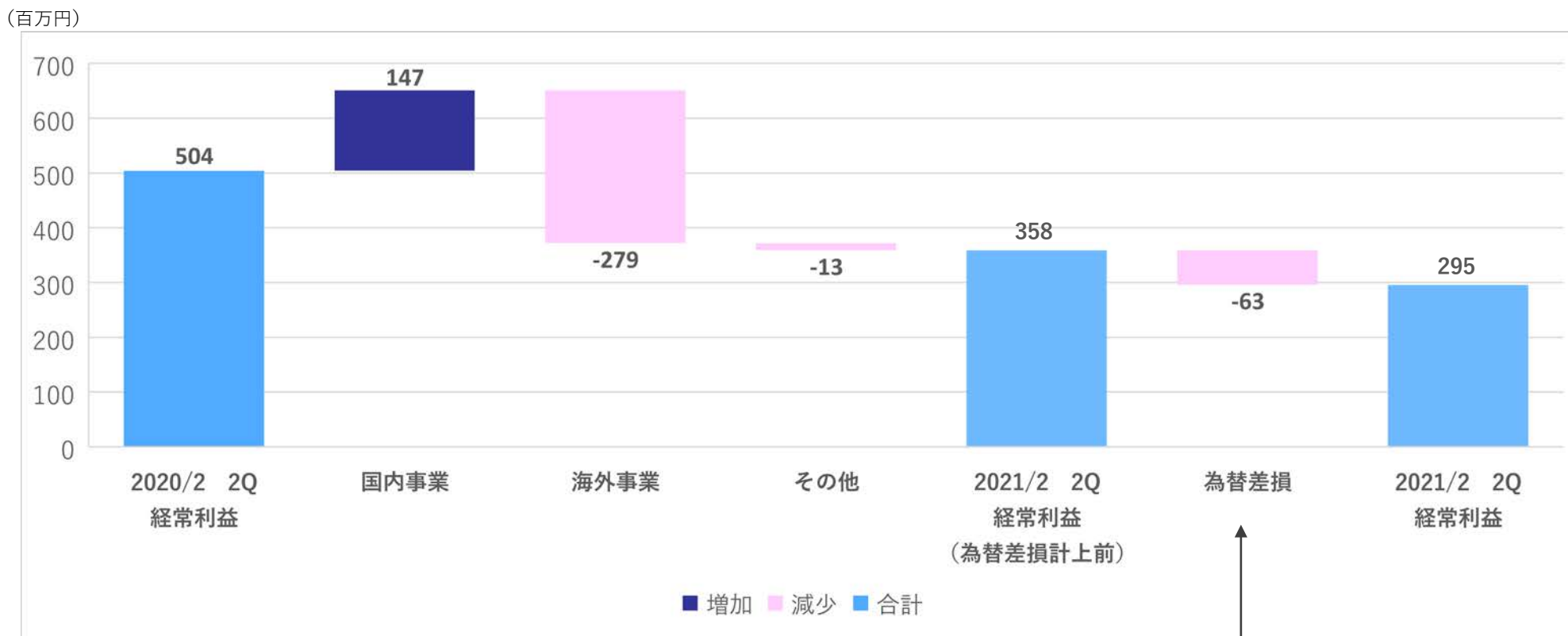
## 営業利益分析

国内事業は前年同期比 **+114百万円** と増益となるも、  
 海外事業は前年同期比 **▲316百万円** と大幅な減益となる。  
 また、香り芽本舗の取得費用 **62百万円** を計上。



## 経常利益分析

国内事業は前年同期比 **+147百万円** と増益となるも、  
 海外事業は前年同期比 **▲279百万円** と大幅な減益となる。  
 また、為替差損 **62百万円** を計上。



為替差損

1Q : 134百万円 ▶ 2Q : 62百万円へ減少

## 3. 2021年2月期 2Q決算概要

# 損益計算書

前年同期比は、売上高100.0%、営業利益51.3%、当期純利益40.7%、EBITDA86.8%となる。

	2020年2月期 2Q		2021年2月期 2Q		前年 同期比	(単位：百万円)
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	14,802	100.0%	14,809	100.0%	100.4%	【売上高】 ✓ M&A及び国内事業の増収要因はあったが、新型コロナウイルスの影響で海外事業の減収が影響し横ばい
売上総利益	3,112	21.0%	3,236	21.9%	104.0%	
販管費	2,630	17.8%	2,989	20.2%	113.6%	【営業利益】 ✓ 国内事業は増益となったが、新型コロナウイルスの影響で海外事業が大幅な減収となったため、減益となる
営業利益	481	3.3%	247	1.7%	51.3%	
経常利益	504	3.4%	295	2.0%	58.7%	【販管費】 ✓ 今期より販管費率の高いNKRを子会社化したため増加
当期純利益	232	1.6%	94	0.6%	40.7%	
EBITDA	846	5.7%	734	5.0%	86.8%	【経常利益・当期純利益】 ✓ 上記及び為替差損の影響により減益となる

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

# 売上高の状況（セグメント別）

国内子会社は、市販用商品を中心に好調に推移するも、海外子会社は、新型コロナウイルスの影響により売上が大幅に減少。

	2020年2月期 2Q	2021年2月期 2Q	前年 同期比	(単位：百万円)
<b>製造事業セグメント</b>	<b>10,330</b>	<b>10,975</b>	<b>106.3%</b>	<b>【M&amp;A】</b> ✓ 当期グループ化したNKRおよび香り芽本舗が寄与  <b>【新型コロナウイルスによる影響】</b> ✓ 国内事業 スーパー量販店向け市販用商品（楽陽食品、純和食品等）の売上は堅調に推移するも、産業給食、飲食店や観光向け等の業務用商品（オープン、エスケー等）の売上は軟調に推移した。  ✓ 海外事業 2Q（海外子会社の2Qは4月～6月）において、シンガポールで部分的ロックダウン（2020年4月上旬～6月旬）が実施されたことで、一部の海外子会社が事業活動を停止もしくは縮小を余儀なくされ、2Qにおいて売上及び利益が一時的に減少した。  （注）2020年2月期2QのPacific Sorbyの売上は4月～6月の3か月分です。
楽陽食品	2,528	2,708	107.1%	
オープン	1,278	1,044	81.7%	
純和食品	1,060	1,246	117.5%	
エスケーフーズ	1,802	1,562	86.7%	
JSTT	647	579	89.6%	
その他（9社）	1,158	1,152	98.9%	
Pacific Sorby	641	584	91.9%	
森養魚場	401	516	128.5%	
NKR	—	784	—%	
香り芽本舗	—	171	—%	
<b>販売事業セグメント</b>	<b>4,472</b>	<b>3,833</b>	<b>85.7%</b>	
ヨシムラ・フード	2,402	2,234	93.0%	
ジョイ・ダイニング・P	507	625	123.5%	
Sin Hin	1,705	1,148	67.4%	
<b>合計</b>	<b>14,802</b>	<b>14,809</b>	<b>100.4%</b>	

（注）個別の業績につきましては、セグメント間の取引が含まれているため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

# 貸借対照表

第2四半期末における大きな変動はない。

	2020年2月期	2021年2月期 2Q	前期末増減額	(単位：百万円)
<b>流動資産</b>	<b>14,148</b>	<b>13,909</b>	<b>△238</b>	<b>【流動資産】</b>
現金及び預金	3,015	3,961	+945	✓ 売掛金の回収により現金及び預金が増加
売掛金	5,585	4,600	△984	
たな卸資産	5,350	5,172	△177	
その他流動資産	197	175	△21	
<b>固定資産</b>	<b>9,729</b>	<b>9,185</b>	<b>△544</b>	<b>【固定資産】</b>
有形固定資産	4,128	3,998	△129	✓ 減価償却等に伴う有形固定資産の減少
無形固定資産	4,811	4,438	△372	✓ のれん償却に伴う無形固定資産の減少
投資その他の資産	789	748	△41	
<b>資産合計</b>	<b>23,877</b>	<b>23,094</b>	<b>△782</b>	
<b>流動負債</b>	<b>9,749</b>	<b>7,961</b>	<b>△1,788</b>	<b>【流動負債】</b>
買掛金	2,757	2,379	△378	✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたことにより減少
短期借入金	3,039	1,867	△1,172	
1年以内返済予定長借	1,513	1,790	+276	
その他流動負債	2,438	1,925	△512	
<b>固定負債</b>	<b>7,449</b>	<b>8,716</b>	<b>+1,267</b>	<b>【固定負債】</b>
長期借入金	7,119	8,430	+1,311	✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたこと、新たに銀行借入を行ったことにより増加
その他固定負債	330	286	△44	
<b>負債合計</b>	<b>17,199</b>	<b>16,678</b>	<b>△520</b>	<b>【純資産】</b>
純資産	6,678	6,416	△261	✓ 外国為替相場の変動により為替換算調整勘定が減少したことにより減少
<b>負債・純資産合計</b>	<b>23,877</b>	<b>23,094</b>	<b>△782</b>	

## 国内事業

- 大部分を占めるスーパー量販店向けの売上は、巣ごもり需要が落ち着きをみせ、前年並みへと戻りつつある。
- 外食及び観光向け等の業務用の売上は、Go To キャンペーン等の影響により、徐々に回復の兆しが見え始めている。
- **国内子会社の売上は、期末に向け引き続き堅調に推移する見込み。**

## 海外事業

- シンガポールでは、2020年6月から部分的ロックダウンが解除され、政府による経済活動の制限や入国制限が段階的に解除されているため、主要取引先であるホテル・飲食店向けの売上は回復の兆しが見え始めている。
- スーパー向けの売上は、引き続き堅調に推移する見込み。
- **海外子会社の売上は、期末に向け徐々に回復する見込み。**

## 4. 2Qトピックス



# 資本業務提携及び第三者割当増資について

2020年8月28日 株式会社ピー・アンド・イー・ディレクションズと資本業務提携契約を締結し、9月18日 第三者割当増資（1.5億円、希薄化率0.72%）を実施。

社名	株式会社ピー・アンド・イー・ディレクションズ
事業内容	企業成長および事業成長を実現するための戦略立案およびその実行支援
設立	2001年9月
代表者	代表取締役 島田 直樹
本社	東京都中央区銀座6-8-7 交詢ビルディング8階
従業員数	50人
主な実績 (2015年度以降)	コンサルティング案件数 655件（内トップマネジメント案件206件） <b>関与したM&amp;Aの案件規模 1.28兆円</b>

- 2001年にボストンコンサルティンググループ出身者により設立された、**独立系のコンサルティングファーム**。
- 戦略コンサルティング業界では中堅にあたり、**企業を成長させるための戦略立案、実行支援を行うと共に、M&A支援業務も行う**。

## 1. M & A 案件ソーシング力を強化

- P&Eが国内外に保有する上場企業の経営層や非上場企業のオーナーとの豊富なネットワークを活用し、**M & A 案件のソーシング力を強化**する。

## 2. 中小企業支援プラットフォームを強化

- P&Eが保有する経営コンサルティングのノウハウを活用し、**中小企業支援プラットフォームをさらに強化し、業績向上を目指す。**

## 3. 資本増強による新たなM & A 投資

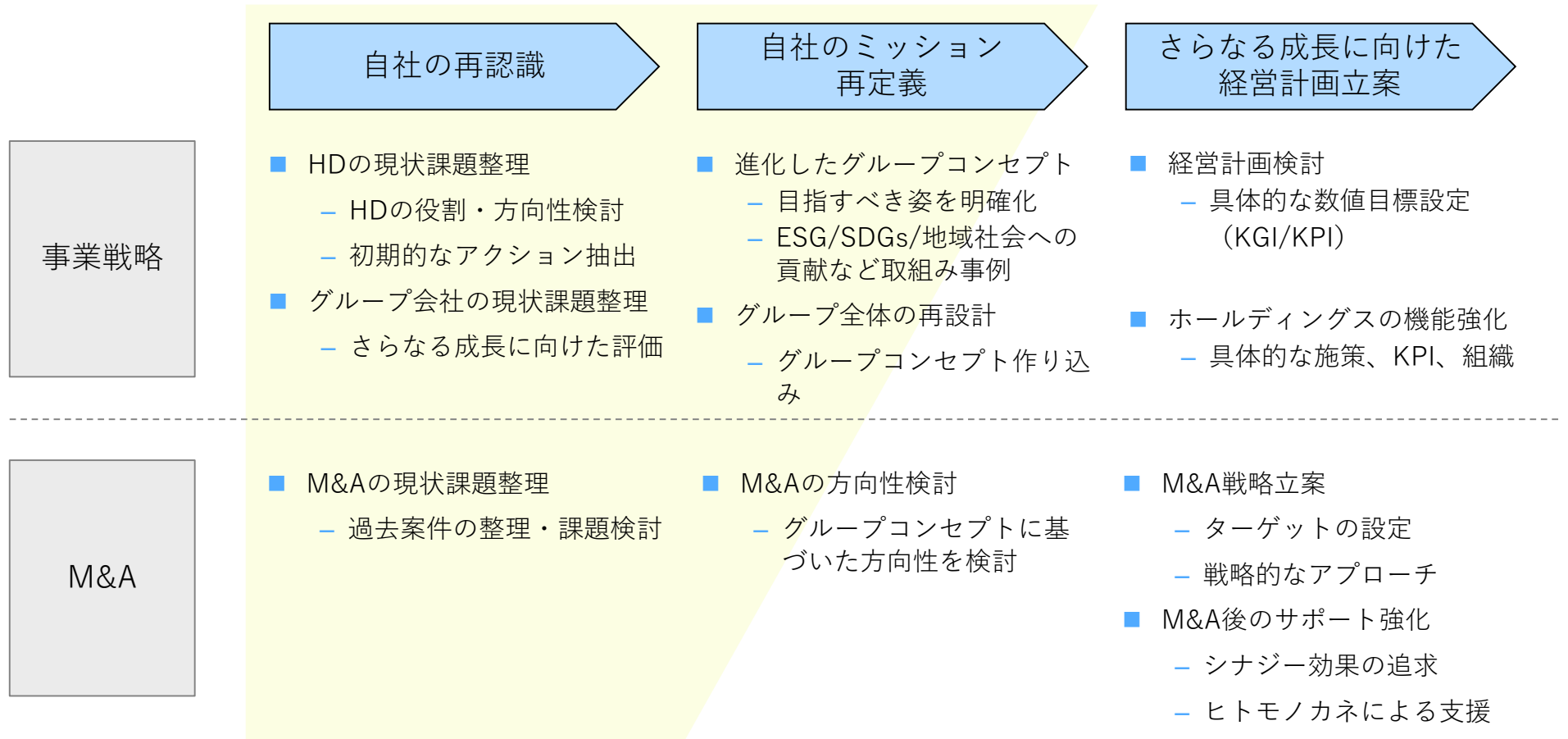
- 第三者割当増資により資本を増強することで、**増資額の2~3倍の銀行借入が可能となり、新たなM&A投資が可能**となる。

**事業拡大及び財務基盤強化のため、**

**今後も事業上のシナジーが見込める企業との資本業務提携を積極的に検討していく**

ピー・アンド・イー・ディレクションズが保有する経営コンサルティングのノウハウを活用し、共同で経営戦略を再定義し、より確かな成長へとつながる仕組みを構築していく。

## P&Eとの取り組み



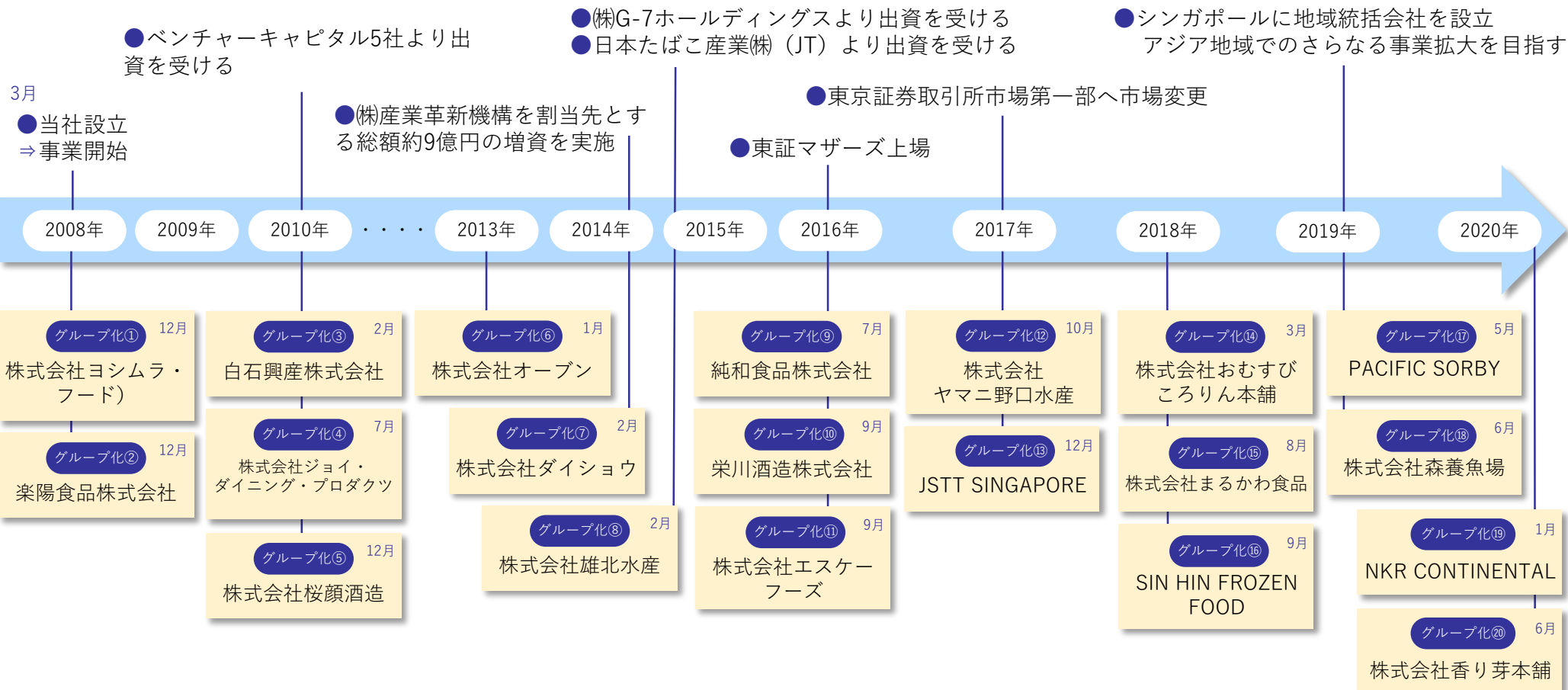
# 5. Appendix

社名	株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
設立	2008年3月18日
代表者	代表取締役CEO 吉村 元久 代表取締役COO 北堀 孝男
本社	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル18階
資本金	527百万円 (2020年2月末現在)
主要株主	吉村元久 39.7%、日本たばこ産業(株) 4.8%、他
連結業績	売上高：29,875百万円 (2020年2月期)
従業員数	連結：1,062人 単体： 22人 (ともに、2020年2月現在)
事業内容	食品関連会社の株式を保有する持ち株会社。 子会社において各種食品の製造・販売。
グループ会社	主要連結子会社：20社
市場	東証1部 (2884)

## 代表取締役CEO 吉村 元久 プロフィール

出身地	北海道函館市
最終学歴	1988年3月 一橋大学商学部卒業 金融論専攻 1994年6月 ペンシルバニア大学大学院ウォートン校卒業 ファイナンス専攻 (MBA)
職歴	1988年 4月 大和証券株式会社入社 事業法人部 上場企業の資金調達業務 1996年 7月 同社 資産証券部 課長代理 資産の証券化業務  1997年 10月 モルガン・スタンレー証券株式会社入社 事業法人部 エグゼクティブディレクター コーポレートファイナンス業務  2008年 3月 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 代表取締役 (現任)

## 当社の歩みは、中小食品企業のM&Aと当社ビジネスモデルへの共感企業からの出資の歴史



## 製造事業セグメント

## 販売事業セグメント

### 楽陽食品



#### シューマイ・餃子

- 国内5か所に工場
- チルドシューマイの生産量は国内トップシェア

### 桜顔酒造



#### 日本酒

- 昭和48年岩手県の地域の酒蔵10社で設立
- 県内出荷量2位

### 純和食品



#### ゼリー

- 高い技術力と彩の国HACCPに認定された高い品質管理能力

### ヤマニ野口水産



#### 水産加工品

- 鮭とばやいくら醤油漬け等北海道の新鮮な原料を使用した水産品を製造

### まるかわ食品



#### ぎょうざ

- 静岡において、秘伝のレシピよぎょうざを製造
- 自社店舗には行列が絶えない人気店

### NKR CONTINENTAL



#### 業務用厨房機器販売

- 主にシンガポール及びマレーシアの高級ホテル等へ、業務用厨房機器を設計・製造・施工・販売

### ヨシムラ・フード



#### 業務用惣菜

- 業務用食材の企画・販売が主、自社で物流を持たず、販売先へ直送するビジネスモデルを構築

### ダイショウ



#### ピーナッツバター

- ピーナッツバターのパイオニアで、主力商品は30年以上続くロングセラー

### オープン



#### 冷凍かきフライ

- 広島産カキを調達する独自ルートを保有
- 鶏なんこつ唐揚等も製造

### 栄川酒造



#### 日本酒

- 業歴約150年の会津の酒蔵、「栄四郎」は全国新酒鑑評会金賞を受賞

### JSTT SINGAPORE



#### 寿司

- シンガポールの工場にて寿司等を製造し、シンガポールの大手スーパーへ販売

### PACIFIC SORBY



#### 水産加工品

- シンガポールの主要なホテルに対し、自社加工した冷凍ロブスター、カニなどを販売

### 香り芽本舗



#### ふりかけ・スープ

- ソフトタイプのわかめふりかけ、わかめスープ等の自社商品からOEMまで、高品質かつ多様な商品を製造

### ジョイ・ダイニング・プロダクツ



#### 宅配等

- 冷凍食品の企画・販売
- 全国の生活協同組合と直接窓口を保有

### 白石興産



#### 乾麺

- 創業130年
- 宮城県白石市特産の白石温麺が主力商品

### 雄北水産



#### まぐろ加工品

- 船産品のまぐろのみを使用した、ねぎとろ、まぐろ切り落としを製造販売

### エスケーフーズ



#### とんかつ

- 「彩の国優良ブランド」に認証された「むさし野とんかつ」が主力商品

### おむすびころりん本舗



#### フリーズドライ

- フリーズドライ加工、フリーズドライ製品の製造、非常食の販売

### 森養魚場



#### 鮎(アユ)

- 岐阜県内3カ所において、高品質な鮎を養殖、販売
- 高度な養殖技術を有し、子持ち鮎の安定生産が可能

### SIN HIN FROZEN FOOD



#### 水産品卸

- シンガポールの水産品卸
- 主力商品は、エビ、ホタテ、カニ等

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく不確実性を含んでおります。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない管理資料が含まれております。